



○君の作品

風の力で動く工作をしました。

タイヤは、コンパスで円を描き、横にはビーズで模様をつけ、工夫して楽しんでできました。



平成

20

年度

1月

学校だより

京都市立桃陽総合支援学校

「おてつだいたいしたいな」

訪問教育

訪問教育の子どもたちは、ただ今小学部五人中学部三人です。

二月から四ヶ月ほど骨折で入院していた小学三年の○君は、いよいよ退院することになり、その気持ちを「がんばったぞ！ぼく」という作文にしました。その一部を紹介します。

がんばったぞ！ ぼく

「ぼくは二月にそりでこけて、だいたいこつをこっせつしました。…リハビリでは、ぼうをもつて、歩くれん習でした。はじめは、力が入らなくて、「こてつ」となっていました。今はやっとまづづえでれん習しています。そしてもうすぐたいいん。家に帰ったらおとうさんとあそびたいな。おかあさんのおてつだいをしたいな。楽しみです。」

「砂絵をしたい」

二赤分教室

小学五年のM君は、学習発表会に向けて絵本の朗読に取り組みました。きれいな絵本に「わあ、こんな風になつてんだ」と興味しんしん。一ページずつ録音することになりました。練習をしていざ本番、「三、二、一…」とカウントすると、ピリッとした表情に変わります。声の大きさ、抑揚のつけ方、声色の使い方など「どこを強く読もうかな」「この魚はこんな声でこんな話し方で」と、いろいろなことを考えながら読んでいました。「この言い方が良かったね」と工夫していたところを示すと「自然に」「何となく」と控えめな照れ笑い。でも練習の時から真剣な表情で読み、録音の時には思いっきり限りの工夫を盛り込んで読もうとしていました。録音が終わると「聞いてみたい」とカメラに耳を近づけて聞き、実習中の学生さんにも聞いてもらい、満足の得意でした。

こんな風に訪問教育では在学中に少しずつ学習発表会の取り組みを進めていきます。どんなお話はお楽しみ…。

「絵はにがてやねん。」と言っていた小学生の男の子が砂絵のセットを見て関心を示しました。作り方を読んで、やる気を見せてくれました。国語の教科書を参考にして下絵を描きました。カッターナイフを使って少しずつ切り抜き、そこにいろいろな色の砂をつけていきます。根気のいる作業ですが、毎日少しずつ進むことも楽しんでるようです。砂絵が完成し額を作つてはめ込みました。大満足の表情で「上出来や！。」と言つて喜んでいました。

その作業の様子を見ていた中学生の女の子が「わたしもやっていい。？」と言つて砂絵に取り組み始めました。ハワイが大好きな女の子の気持ちがよく表れている作品ができました。

すると二人の作品を見た小学生の女の子が、「砂絵をしたい。」と言い出しました。病状を考えると座つて

いるだけでも大変なのですが、三十分間も作品と向き合っています。完成にはまだまだ時間がかかりますが、「砂絵をしたい。」という気持ちがこの女の子を教室に向かわせているのでしょうか。歩き方や話し方が少しずつ元気になってきました。

第一回児童生徒集会

本校小学部

六月四日に第一回児童生徒集会が開かれました。小学部・中学部の子ども達が会議室に集まり、和やかな雰囲気ではじめられました。議事の司会進行は小中の本部役員がしっかりと進めました。集会では各委員会の代表が活動の内容を説明したり、各クラスの目標を発表しあいました。小学部も委員会やクラスの代表者が前に出て活動内容やクラス目標を紹介しました。みんなの前で発表するのはなかなか勇気のい



ることですががんばってできました。中にはクラス目標をカラフルなカードにしてクラスのみんなで持って紹介するクラスもありました。

二・三年のクラス目標

なかよく たのしいことをして
がんばることはがんばる

四・五年のクラス目標

協力し合い 進んで学び
笑顔あふれるクラス

六年のクラス目標

やさしく 思いやりを持つ
助け合えるクラス

みんなで協力して、目標に向かっていいクラスを作っていくってほしいと思っています。また、同じクラスの友達との出会いを大切にしていきたいと願っています。

京大茶話会

京大病院分教室

六月二十六日に、京大病院に入院している児童生徒の保護者の方 八名、担当教員四名の他、学校長、副教頭、PTA副会長の石

野さんを交え、茶話会をおこないました。

多くのお母さんから、お子さんが、「学校が楽しいと言っている」、「しんどくても院内学級に通うのを楽しみにしている」とお話しされました。教職員一同とても喜んでいきます。とても指導の励みにもなります。

きつい治療でしんどくても、大きな苦い薬も拒否せず飲んで、頑張っている子ども達の様子なども話されました。

多くのお母さんの方は病院内に宿泊まりされているため、自宅がどうなっているのか心配だというご意見もありました。また中三の保護者からは、進路が心配という意見も出され、いろいろなことを心配しなければならぬことが、痛感させられました。

要望として、小中学生ではないけれど、長期の入院をしいられている人の活動の場を設定してもらえないかというご意見がありました。

た。学校としては、学生ボランティアさんとして参加していただくよう検討しています。

現在小学部は十名登校してきています。中学部は六月中旬に三名が退院していきましました。さらに今月にも数名退院する予定です。喜ばしいことですが、少しさみしくなります。教科学習はもちろん、みんなで風船バレーや、ゲームをして楽しく過ごしています。

また教室前の掲示板の飾り



作りにも取り組みました。入院されている多くの患者さんも、足を止めて観ても

らい喜んでいただいています。



食生活を豊かに

府立医大分教室

梅雨空の中、咲きほころ
紫陽花が気持ちを和ませ
てくれます。

小学部・中学部それぞれ、
入院・退院でメンバーは入
れ替わりますが、一人ひと

りが年齢に応じて自分の身
体の状態を把握し、よりよ
い入院生活が送れるように
日々努力しています。

中学部では、六月二十日
に調理実習をしました。
「鯛のハンバーグと野菜炒
め」という献立です。「合い
挽きミンチを使ったハンバ
ーグ」は作ったことのある生徒
でも、さすがに「鯛のハンバ
ーグ」は初めての経験だった
ようです。鯛を開き、三枚
おろしにして、包丁で叩いて
つぶしました。



野菜炒めは、旬のキャベツと
もやしを使いました。
香ばしいにおいがたどよい、

きれいに焦げ目のついたハン
バーグが出来上がりまし
た。



みんな美味しくいただき
ました。魚離れと言われて
いる昨今、栄養の知識を身
につけながらの実習が、今
後の食生活を豊かにしてく
れるのではないかと期待し
ています。

小学部では、毎日机を向
き合わせて学習しています。
時には上の学年の児童が、
自分の経験を生かしてアド
バイスすることもあります。
よりよい仲間づくりができ
る取り組みを交えながら、
社会性や自主性を育ててい

きたいと考えています。
図工では「ミニこま」から
くりカード「木工の恐竜づ
くり」「ペン立て」など手づ
くり工作に取り組んでいま
す。出来上がった作品がベッ
ドのまわりをにぎやかにし
ています

「地域の先生の一言う
れしかったよ！」

国立分教室

新しい仲間が入ってきて
中学生四人になりました。
前回のテストが終わったと
思っていたら、次のテストが
始まります。中間テストや
第二回定期テストなど地域
の学校によって呼び方も昔
と違ってきています。近くの
学校の場合、先生方が分教
室まで問題用紙を持って、
様子を見に来てくれます。
本人が頑張っている姿勢の
時は声かけが自然にでき
ます。ある日、F先生が忙

しい中、医療センター正面
玄関まで問題用紙を持って
きてくれたことに対してT
君と一緒に「ありがとうご
ざいました。」と感謝の気持
ちを伝えました。地域の学
校の先生から「がんばって
な。」の一言がT君の気持ち
を新たにしてくれたと思い
ます。

H君の場合は、地域の学
校の先生が、試験中に聞き
取りテスト用のCDを持って
きてくれました。試験が終
わるまで傍で見守って、終
了の合図と同時に解答用
紙を見るや「ようできてい
るなあ。すごいわ。これだけ
書けたら充分やあ」の言葉
かけがありました。その一
言に満面の笑みを浮かべ、
「もつとできなあかんのやけ
どなあ」と、明日へのエネ
ルギーになったようです。
自分のできる範囲でチャ
レンジ！チャレンジ！取り
組もうとする姿勢に拍
手！

修学旅行

本校中学部

三年生は六月十一日から十三日まで東京・千葉方面に修学旅行に行つてきました。

一日目、新幹線に乗り込むと友人とおしゃべりをしたりトランプをしたり和やかな時を過ごしました。東京に着くと電車を乗り継いでお台場へ。「自由の女神」をバックに記念写真をとりました。その後、テレビ局を見学、人気番組の関連グッズに思わず顔がほころびました。「日本科学未来館」では生命・宇宙・情報科学をテーマに最先端のテクノロジーを取り入れた展示がされていました。

二日目、目を覚ますとあいにくの雨。それでも気持ちを奮い立たせてディズニールランドへ。グループごとに分かれて思い思いのアトラクションを楽しみました。夜になると雨もすっかり止み、

パレード見学、色彩々のイルミネーション、とても幻想的でした。花火を見ながらディズニールランドともお別れです。手にいっぱいのお土産を手にしてゲートを出ました。

三日目、修学旅行も最終日、東京タワーを見学しました。エレベーターで一気に百五十メートルの大展望台まで上ると眼下に大都会の景観が広がりました。ガラス張りの床の上では思わず足がすくみました。思い出いっぱい胸に抱え、全員無事帰ってきました。



楽しいな 楽しいな
ディズニーは
楽しいな!!!



なかなか、いい
手つきやな!



前期職場体験

一、二年生は同じ三日間、総合的な学習の時間の取り組みとして生き方探究チャレンジ体験「職場体験学習」を行いました。

学校近辺の幼稚園、喫茶店、飲食店、図書館に分かれて実習に行きました。実際にハンバーガーを焼いたり、来客のオーダーをとったり、レジ打ちをしたり、また小さい子といっしょにおもちゃをつくったりと初めての体験をしました。最初は戸惑ったり、ドキドキ緊張した様子でしたが、職場の方やお客さんに「ご苦労さん。」「ありがとう。」「と声をかけられ表情が柔らかくなってきました。

実習を終えると「疲れた。」「しんどい。」「と言いつつも充実感がみなぎっていました。この貴重な体験を今後のいろいろな活動に生かしていつてほしいと思います。

えーと・・・
ハンバーグ2



ハイ！ハイ！
ウン・・・！
ウン・・・？



先生！
あのね！
わたしね！



災害に備えて

学校長 尾崎 泰敏

六月十四日岩手・宮城内陸地震がありました。マグニチュード七以上の大きな地震でした。テレビのニュースで被災者の方の話を聞いていると「ドンという感じで大きな衝撃がきて後は物につかまって立っているのがやっと、地震と言うよりは近くに飛行機が落ちたか大きな爆弾が爆発したのかと思いました。」という発言をされていました。阪神淡路大震災の時、朝方に同じような「ド

ン」という感じが京都でもあつた事を思い出しました。もちろん今回の被災地の人たちは私たちが感じた京都のゆれの数十倍の衝撃を感じられたのでしょね。恐怖というのは何年たっても忘れないものです。道路や電気、水道などの復興はもちろんの事です。被災者の方々の心の平穏を早く取り戻して欲しいと思っています。

中越沖地震の時には新潟県の柏崎養護学校(当時)が被害にあいました。子どもたちの心のケアに苦労されたと聞いています。地震の後眠れなくなったり、夜中に突然恐怖で目が覚める子がたくさんいたようです。今回の地震の震源地の近くにも一関清明支援学校があります。建物などの被害は比較的少なかったようですが子どもたちは大変怖い思いをしたようです。柏崎も一関も病弱の特別支援学校です。桃陽の皆さんと同じような学校生活を送っています。一日も早く心の平穏を取り戻してほしいのです。

ところで今回の地震は昼

に起こりました。一関の皆さんは学校にいたそうです。地震の時の避難訓練は何度もしていたようですが実際には訓練の時のような行動はできなかったようです。物につかまつて立っているのがやつとという状態です。から行動できませんね。でも「慌てて行動しない」「先生の指示をよく聞く」という普段の心がけは全員が守れたようです。おかげあわて怪我をするとか物を壊すような2次災害は防げたようです。

「実際の災害の時には訓練のようににはできないから訓練は無駄だ。」という人がいます。しかし習ったことや練習したこと何分の一かができた事によつて最悪の結果は逃れられます。今回の地震では、慌てて道に飛び出し、車にはねられた方がありました。走って逃げようとして転んで骨折したという話はよく聞きます。やはり普段からの学習や訓練が大切なのです。一関清明支援学校に激励のお便りをしてあげてください。

7 月 行 事 予 定

日	曜日	本校(訪問教育)	桃陽病院	分教室関係
1	火			集会(国立病院分教室)
2	水	児童生徒会運営委員会		課外学習
3	木	夜間学集会		
4	金			
5	土		外泊日	
6	日		↓	
7	月			
8	火			集会(医大病院分教室)
9	水	児童生徒会運営委員会・総P理事会		課外学習
10	木			
11	金	若狭海の家宿泊学習		
12	土	若狭海の家宿泊学習		
13	日		外泊日	
14	月	代休日(本校)	↓	
15	火	進路懇談会(中3)普通救急救命講習		集会(京大・二赤病院分教室)
16	水	懇談会		懇談会・マリンパの夕べ(京大病院分教室)
17	木	懇談会		懇談会
18	金	授業終了		授業終了
19	土		外泊日	
20	日		↓	
21	月	海の日 夏季休業開始	↓	夏季休業開始
22	火	登校日・プール指導		
23	水		外泊日	
24	木		↓	
25	金	登校日・プール指導	誕生会	
26	土	みどりの会活動日	外泊日	
27	日		↓	
28	月	登校日・プール指導		
29	火	登校日・プール指導		
30	水			
31	木	登校日ワイワイ広場準備		